

岐阜県産のお米「ハツシモ」を

使用した『米粉入りドーナツ』が

4月末にデビューします！

多治見支所(可茂・多治見エリア委員 会)の「米粉入りドーナツ検討グループ」と、宮田製菓(各務原)が共同で、『米粉入りドーナツ』を開発しました。

生協では、食料自給率向上を目指した取り組みをおこなっており、ちょうど多治見支所の組合員さんが米粉に関心を持たれているということで、岐阜県の代表的なお米、「ハツシモ」を活用したドーナツの検討が始まりました。

検討段階では、米粉の特徴を持たせたドーナツにするのか、米粉が入っていても普通に食感を楽しめるドーナツにするのかを重点に検討しました。

ドーナツの形は食感のやわらかなクルーラータイプに決定、甘さについては、

総代会議での試食アンケート

- 甘さもほどよくさっぱりしてるのでたくさんたべられそう。
- 油っこさも軽くてうす味、かみごたえもあって軽食向き



1月18日には検討グループの組合員さんが、各務原市の宮田製菓の工場を見学しました。



「お母さんの思いは甘さひかえめ、子どもには物足りないのでは？」など話し合い、総代会議の場で総代さんに試食していただき、味、食感について8割の方に支持をいただき決定しました。

ハツシモの米粉は商品全体に約5%を使用して、お米をあまり感じない「おやつ」や「お茶うけ」に甘さを控えたドーナツができました。また、ぜひ米粉について知っていただきたいと商品名やパッケージに「米粉」をアピールしました。ぜひみなさんご利用ください。



17号商品案内デビュー  
7個入り 298円

Report

商品安全検査センター

2010年理化学検査のまとめ

商品安全検査センターでは、生協商品の安全性を確認するため、微生物検査や理化学検査を実施しています。理化学検査では、測定機器などを用いて分析し、農薬や食品添加物が適正に使用されているか、などをみています。今回は2010年の理化学検査の概要を、主に残留農薬検査を中心にご報告します。

● 残留農薬検査

2010年は、農産物や加工食品など、520検体の残留農薬検査を実施しました。結果は、体に影響が出ない程度の微量での検出ではありますが、自主基準を超過するものが1件あり、原因究明と対策の検討を実施しています。それ以外のものは、すべて適合であり、全体での農薬検出率は34%となっています。

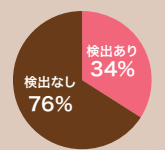
次に検出値の基準値に対する割合を見てみると、検出したものの94%の検体が基準値に対して10%以内の検出に収まりました。(のべ334種類の農薬を検出。その内315種類が基準に対して10%以下の濃度) 過去3年間もほぼ同様の結果であり、産地で適切な農薬使用がなされていると推察されます。(右のグラフ参照)

また、2010年には、GC/MS/MSという分析

機器(写真参照)を導入しました。この機器を用いる事により、加工食品などの検査がより精度良く分析でき、また、より多くの種類の農薬の検査が可能となります。今後もさらに生協商品の安全品質管理強化に努めて参ります。

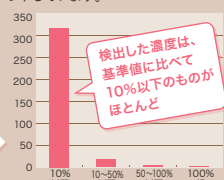


■ 2010年検出率



検出した農薬の濃度は、基準に対してどれくらい?

■ 検出値の基準値に対する割合  
検出した農薬の濃度が、その農薬の基準の何%だったかを、のべ数でカウントしています。



【東海コープ商品安全検査センターとは…】

東海3県の3生協で東海コープを作り、商品を共同仕入しています。東海コープは、メーカーさんと農家さんと、書類で約束を交わします。その約束が守られているか点検するのが、商品安全検査センターの役割です。

例えば…



約束  
このウインナーは、添加物を減らして返そうね



東海コープの商品部

東海コープ商品安全検査センター

添加物検査  
めもとりで、不定期に実施

約束どおりだね!

● 2010年理化学部門検査件数

2010年に行った理化学分野の検査数を示しました。商品安全検査センターでは2011年も様々な理化学検査を通して商品の品質の監視をしていきます。

理化学検査	2010年検査件数
残留農薬検査	520
食品添加物検査	380
遺伝子組み換え検査	49
動物用医薬品検査	99
重金属検査	31
卵の鮮度等検査	667
アレルギー検査	58
ヒスタミン検査・その他	14